



JR南武線連続立体交差事業に関する地域勉強会 発足！

平成19年に、JR南武線沿線の55,000人以上の方々による「JR南武線未高架地域の連続立体交差化に関する請願」が、川崎市議会にて全会一致で採択され、川崎市においてJR南武線連続立体交差事業（尻手駅～武蔵小杉駅間）の検討が進められています。平成27年度に川崎市により策定された「川崎市総合計画」では、今後のスケジュールとして、平成30年の都市計画決定が目標として示されました。

これを受けて、連続立体交差事業の計画段階から地域や行政との意見交換や地域の声を受けた計画とすることを目的として、地域が主体となった「JR南武線連続立体交差事業に関する地域勉強会」を発足させましたので、沿線の皆様にご報告いたします。

この地域勉強会では、沿線で活動する様々な団体の代表者や行政にもメンバーの一員として参加してもらい、6月23日（木）に幸区役所で地域勉強会（第1回）を開催しました。

この中で、沿線地域の現況・課題について意見交換し、踏切対策の必要性を共有しました。

地域勉強会（第1回）での主な意見

- ・地域に連担する踏切が、これまで地域の発展や日常生活に大きな影響を及ぼしていることや、踏切対策が喫緊の課題であることが理解できた。
- ・連続立体交差事業は長期間を要す事業であるので、高架化や地下化など構造工法について考える様々な手法を比較して、より早く踏切を除却し効果を発現できるよう議論したい。
- ・今回の立体交差化検討区間には、横浜市の鶴見区もあり、矢向駅周辺の団体の代表者を加えたら良いのではないかと。
- ・連続立体交差化を進めつつ、短期的に効果を出せる踏切対策についても検討したい。
- ・沿線の用地取得など今後の生活への不安に対して、丁寧な説明が重要である。



～地域勉強会（第2回）の開催のお知らせ～

日時：平成28年7月22日（金）19:00～20:30
場所：中原区役所5階 501会議室

↑ 当日の地域勉強会の様子はコチラ

お問い合わせ

川崎市 川崎区 駅前本町 12-1 タワーリパークビル14F
川崎市 建設緑政局 道路河川整備部 道路整備課
TEL 044-200-3499



ホームページはコチラ

Vol.1 2016.7.20
JR南武線連続立体交差事業に関する
地域勉強会 事務局発行